

【事業所名：ソーシャルインクルホーム大垣静里町】

項目	評価の視点	実地状況等【具体的な内容】	協議会委員からの要望・助言・評価	事業所 回答
1. 地域に開かれた運営	実習生やボランティア等の受け入れ	<div>・受入人数：実人数</div> <div>0 名</div> <div>・実習等受入事例</div> <div>実習生やボランティアの受け入れは実現しておりません。前回、助言いただきましたように地域の施設、施設の社会化を意識してボランティアの受け入れや交流の機会を増やせるよう努めます。</div>	<div>①実習生やボランティアの受け入れがありませんが、この間、受け入れができなかった理由を教示いただきたい。また、実習生やボランティアの受け入れに関しての事業所としての考えを教示いただきたい。</div> <div>②実習、ボランティアの受け入れがないのは残念だが地域との交流機会を設けているのは良いことです。</div> <div>③地域住民との交流の機会がまだ少ない。実習生やボランティアの受け入れを多くして地域に認められる努力をして欲しい。</div> <div>④実習生やボランティア等の受入れの実績がないので、今後は積極的に受け入れ、地域に開かれた運営を目指して欲しい。</div> <div>⑤ボランティア等の受け入れを実施していない。地域住民との共生、相互理解のためにも実施されると良いのではと考える。</div> <div>⑥地域に開かれた運営というのは難しいかと思いますが、ある地域では自治会と協力して、一緒に夏祭りをしているところもあります。</div> <div>⑦災害時、緊急時の備え、近隣住民や自治会との関わりやつながりを積極的に設けていただきたい。</div> <div>⑧今年度から義務化された地域連携推進協議会は必ずやって欲しい。</div> <div>⑨地域連携推進会議等の開催など活用し、利用者の方と地域との関係づくりやサービスの透明性に努めてもらいたいです。</div>	<div>①職員の採用状況が十分ではなく、実習生やボランティアを受け入れる体制が整っていなかった。採用がすみ体制を整えば、実習生やボランティアの受け入れを行っていきたい。</div> <div>②今後も続けて参ります。</div> <div>③招致いたしました。</div> <div>④体制が整い次第、積極的に受け入れて参ります。</div> <div>⑤ご意見に賛同いたします。今後は積極的に受け入れて参ります。</div> <div>⑥イベントを行う際は、自治会長様へご相談させていただきます。</div> <div>⑦顔が浮かぶ関係の構築に取り組んで参ります。</div> <div>⑧会社としても積極的に取り組んでおります。</div> <div>⑨開かれた施設となり、地域の方々の交流の場にもなれるよう努めます。</div>
	地域住民との交流の機会の確保	<div>・交流機会の事例</div> <div>自治会に加入し地域の清掃活動に参加。今後は地域行事への参加も検討し、より多くの交流の機会が持てるよう努めます。</div>		
2. 短期入所の併設	地域で生活する障がい者の積極的な受け入れ	<div>・利用者数 令和6年度</div> <div>6名（うち大垣市の支給決定者2名）</div>	<div>①短期入所の緊急受け入れがありませんが、ニーズがなかったのでしょうか。それとも、事業所の体制や支援の問題、または他の理由からでしょうか。教示いただきたい。</div> <div>②受入人数は0名とのことですが、依頼はありましたか。どのくらい応じていただけると分かると良いです。</div> <div>③入居希望者によるが知的障がい者、特に障害支援区分5,6に当たる人を積極的に受け入れてほしい。また、医療的ケアの必要な人の短期入所もしっかり受け入れられる体制づくりをして欲しい。</div>	<div>①ご報告の時点ではニーズがありませんでした。</div> <div>②7月に入り1名緊急受け入れを致しました。翌日からご利用を開始致しました。</div> <div>③障害支援区分3以上の方を対象としており、積極的に受け入れを致しております。医療ケアにつきましては、訪問看護をご利用頂きながら、受け入れをしております。</div>
	緊急的利用のニーズへの対応	<div>・緊急受入人数</div> <div>0名（令和6年6月1日～7年5月30日）</div> <div>・緊急受入れの事例</div> <div>上記期間中の受け入れ事例はございませんが、大垣静里町の過去の事例としては、主の介護者であるお母さまの緊急入院に伴いロングショートで受け入れた事例がございます。</div>		
3. 支援の実施	利用者が充実した地域生活を送るための外出や余暇活動等の支援	<div>・外出や余暇活動等の事例</div> <div>散歩・選挙の投票に同行。希望者が見える場合、買い物同行の支援も対応させていただいております。</div>	<div>①余暇活動（日中活動）を、日々どのようなプログラムで提供しているのか教示いただきたい。</div> <div>②職員数、職員の労働環境について知りたい。利用者も高齢化してくると思われるので十分な人材の確保をお願いしたい。</div>	<div>①脳体操としてゲーム・将棋や、筋力維持のためのお散歩などを提供しております。また誕生会も適時行っております。</div> <div>②職員25名。日勤・夜勤共に概ね2名体制がとれている。</div>
	支援の質の確保（資格取得・研修等）	<div>・取得した資格、参加した研修等</div> <div>・資格取得 強度行動障害支援者養成研修に申込済み。 ・研修など 内部研修や委員会の実施 虐待防止・身体拘束等適正化・虐待防止委員会身体拘束等適正化委員会、避難訓練、ハラスメント・感染症対策委員会、障がい特性/コミュニケーション、接遇マナーほか ・外部研修への参加も積極的に参加できるよう調整していく。</div>		
	重度化・高齢化等へのニーズへの対応	<div>・対応事例</div> <div>協力医療機関との協力体制。医療連携体制による訪問看護ステーションの24時間オンコール体制。利用者様の通院同行。 通院対応が家族様や他事業所の対応でも必ず情報共有は行っている。 ホーム内でも毎朝バイタル測定を実施しており、日々の入居者様の状態変化を常に観察し、異常の早期発見にも努めている。緊急時は、主治医へ相談、救急搬送などの対応を行う。</div>		
	体験的利用のニーズ	<div>・体験利用人数</div> <div>2025年1月以降 4 名</div> <div>・体験利用の実例</div> <div>体験して頂き実際に当ホームに入居された方が2名。 1名は弊社の別ホームに入居される。</div>		
	日中、土日を含めた常時の支援体制の確保	<div>日中2名以上配置をしている</div>		

項目	評価の視点	実地状況等【具体的な内容】		協議会委員からの要望・助言・評価	事業所 回答			
4. 利用者の状況 (R6. 4. 1～R7. 3. 31)	利用者数（実人数）	11名						
	障害種別（重複はそれぞれ計上）	身体 2名	知的 5名					
		精神 11名	難病等 0名					
	利用者の障害支援区分	区分6： 2名	区分5： 1名					
		区分4： 5名	区分3： 3名					
		区分2 名	区分1： 名					
		区分なし： 名						
	利用者の障害特性等	・医療的ケアの必要性、強度行動障害のある利用者の人数						
		11名中 4名						
	他の日中活動サービスの利	・他の日中活動の利用状況						
11名中 6名								
・主な他の日中活動サービス利用先								
生活介護・就労継続支援B型								
空室がある場合（新設時含む）の対応	・入居募集方法や申込状況							
	担当マネージャーによる病院や計画相談事業所への営業や、見学会の実施。また入居者様の担当の相談員様へ入居者様のご様子をお伝えすると共に、空室状況もお伝えしております。							
5. 報告事項	利用者又はその家族からの苦情を解決するために講ずる措置	・苦情解決処理体制、手順		①苦情対応に関して、会議により多職種の意見を聞き取り、そして、話し合いにより解決に至ったのは良かったと思います。 ②苦情がでるのは仕方がないと思う。適正に対処されたようで評価できる。 ③苦情対応事例にあった事例は、解決に至り良かった。このような事例は他のところにもあると思うが、きっと利用者、家族、担当者、他職員の話し合いで解決されていると思う。利用者からは言えないのではないと思う。	①今後も連携して対応致します。 ②早期対応を徹底致します。 ③多職種のそれぞれの認識や意見を聞き、総合的に方針を話し合いで解決でき安心致しました。			
		苦情相談窓口をホーム、本社とそれぞれに設けている。重要事項説明書にも記載されており、入居時に説明を行っている。苦情が発生した場合、事実確認、適切に解決できるよう話し合いなど行い早期解決できるよう対応を行う。						
		・苦情対応事例						
		夜間帯のご本人様のご様子や行動について、ご家族様と認識相違があり、今後の対応についてご相談した際に意見相違があったが、担当者会議を開催し、多職種の意見を聞きとり、話し合い解決に至った。						
	虐待防止・身体拘束適正化の取り組みについて	・虐待防止、早期発見のための取り組み						
		虐待防止、身体拘束適正化委員会を会社として組織しており、定期的な研修をホーム内で実施している。不適切な支援や疑いに関する事例をもとに意見交換を行い、予防や対策について意見を出し合うなど取り組んでいる。不適切な支援など職員が見聞きした場合は、速やかに管理者や担当マネージャーにて事実確認を行い、関係各所への報告を実施。適切な解決に向けて対応を行っている。迅速且つ適切な対応が出来るよう、虐待対応フローを事務所内に掲示している。						
		・虐待発生事例、対応事例						
		大垣静里町において虐待発生事例は無し						
	6. その他	運営の特色・工夫等	・設備面での障害特性等への配慮			①災害時、緊急時の避難はどのようにしたらよいか、マニュアルとか訓練、地域の協力はありますか。 ②管理者、サビ菅の定着をお願いします。 ③地域住民とのコミュニケーションを取り、地域活動等への参加も可能な限り行うと良い。 ④3. 4. 5. 6項目について、具体的な取り組み内容や対応について詳しく明記されており、丁寧な施設経営を感じる。評価できる。	①避難経路を事務所に設置し、円滑な誘導が出来るようにしております。また、防火管理者による防災訓練を実施しております。 ②長まりました。定着して頂けるように努力致します。 ③ボランティアの受け入れをし、地域の方々との交流の機会を持つようにして参ります。 ④痛み入ります。今後も、地域の皆様のお役に立てる施設となれますように、しっかりと運営して参ります。	
			・ホーム入りロスロープ ・バリアフリー館内 ・各階に4か所のトイレがあり、2か所は車いす 対応。オストメイトも設置 ・各階に一般浴、リフト浴あり ・全室個室 ・エレベーター完備					
・運営面での特色等								
○利用者の状態にあわせた支援の工夫（食事の提供・金銭管理等）について… ・食事に関して。外部の業者に業務委託という形で食材の発注をしている。栄養士監修のもと用意された献立に基づいて食材を施設内で調理することで、栄養面において配慮されたものを提供している。また刻み食とムース食にも対応できる体制がある。 ・金銭管理について。基本的に利用者の生活費等はソーシャルインクルーが立替払いをしており、利用料金に合算し請求している。小口現金管理については、毎月出納帳をご家族様及び本社へ報告している。								
特記事項		経営理念 「住まいで困っている障がい者が『0』の社会を創る」 グループホームを障がい者にとって「家そのもの」と捉え、温かいコミュニケーションで安心・安全な暮らしを提供することを目的として運営しております。						
7. 協議会からの要望・助言への対応（2回目以降）		要望・助言への誠実な対応	・要望・助言の内容及びその対応					
			協議会からの要望や助言には積極的に意見をいただき、取り入れていきたいと思います。					